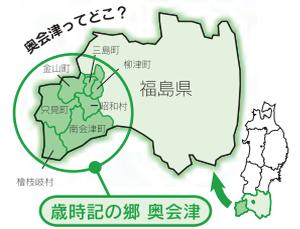


奥会津だより



雪解けの頃 向かいの山の中腹に滝が現れる
滝下には不動さまと雷神さまがおわす
神々に守られながら過ごした冬
踏みしめる残雪の下には 春



写真：田沼隆之

祖父母からの聞き書き

柳津町立柳津中学校 一年 矢部 莞久馬

この写真は、昭和二十一年の祖母の小学校(若宮小)の入学式の写真です。祖母は、前から二列目の右から三番の所です。学年で百人以上の人がいて今よりも多くの人数がいます。戦争が終わったばかりで食料を増やそうと豆畑を作ったりしていました。

当時、学校は今のようになかった感じがしては、昔、試験というものは、

がとてもなく、さらに、宿題というのもなく、また、家の農業の手伝いが何よりも最優先で、田の仕事が本当にそがしい時期には一週間ほど学校が休みになって、朝から晩まで農業をやっている親の手伝いや、家の順番をやったりしていたそうです。

食べ物は、ごはん、みそ汁と家でさいばいしていたきゅうりやナス、キャベツ等の野菜が中心でした。学校での昼食は、弁当



僕は、この話を聞いて、今は便利でいいと思いました。あと、勉強が厳しくないの少しうらやましいです。

取材ノート



祖母：矢部 逸子 さん
(昭和15年1月生 76歳)
孫 .. 矢部 莞久馬(いくま)君
(平成14年1月生 14歳)
〔柳津中2年〕

べるのが最優先。肥料は買えないから下肥。五、六年生は「フリオケ」担いでビシヤクで畑にくれて、それが肥料でした。

Q..莞久馬君どうですか？
莞久馬君..信じられないです。それはもう校庭じゃない。

Q..学校の先生はどんな先生でしたか？
逸子さん..一年生の時は五十嵐先生という女の先生。二年から勝方のクワハラテオ先生というお坊さんの先生でした。怒られた記憶がないから、優しい先生方でした。

Q..もしかししたら、写真左に写っている坊主頭の先生ですか？
逸子さん..ああ、それは、校長先生。

Q..当時の食べ物ですが？
逸子さん..カランカランに乾燥したニシ

ンが引出しにいつもありました。「腹



減ったあ。」とか言うので「ニシンでも食え。」とか言われて一本くわえたりして。

Q..弁当検査というのは？
逸子さん..それは、「カテご飯」(カテメシ)を食べなければならなかったの

白いご飯だけではだめだったの。
莞久馬君..「カテメシ」って何？
逸子さん..カテメシっていうのは、芋とか大根つ葉とか入れてご飯を増やすの

米を売れば現金収入になるから、大事に大事に食べていたよ。
Q..莞久馬君、ばあちゃんの話聞いてみてどうでしたか？
莞久馬君..わからない言葉がいっぱい出てきて、今とは全然違う世界、それが当たり前だったんだなあ、と思います。

(写真・文責..菅 敬造)

不思議な話

飯塚清一さん

(昭和22年生まれ..柳津町湯八木沢)

十年くらい前のことだ。地熱発電所の建設工事をやっていたころ、たまたま温泉が出たところに簡易なハウスを建てて、村の者が湯入りに行っていたことがある。半月くらいの間だったと思う。

ある夜、その湯に入りに行こうと、われわれ夫婦と小学生と中学生の子どもを連れて車で家を出た。二〇〇メートルばかり走ったところで、ボンボン燃える火を見た。五メートルほどの幅で、火の高さは二メートルほどもあった。大峰に行く人気がない田んぼのあたりで、車から五〇メートルと離れていなかった。驚いて近づいてみたが、火も煙も何もなかった。

奥会津の食材と料理

ヤマニンジンご飯



雪解けの土手にこぼれる鮮やかな緑。山ニンジンの柔らかな葉だ。

湯がいて三日ほど塩漬けにした山ニンジンを刻んで、炊き上がったご飯に混ぜるだけ。春を象徴する美しい緑と爽やかな香気に、冬の眠りから覚めたような気分になる。

暦に添う暮らし

農作業のはじまり



かたゆき
堅雪を踏んで、耕作地にもみ殻の薫炭を撒く。黒い粒は春の陽光を吸って融雪を促し、土の改良材ともなる。豊かな地面が現れるのも、もうすぐだ。

奥会津の生き物と草花

写真・文…新国 勇



フクジュソウ

残雪の奥会津で、最初に春を告げてくれる花。南会津町の南郷地域ではコガネ（黄金）と呼ぶ。かつてはどこにも見られたが、今では絶滅危惧種。奥会津ではめずらしくはないものの油断は禁物。たいせつにしていきたい。



メジロ

「長兵衛、忠兵衛」とさえずりながら、奥会津の春を謳歌する。群れでヤナギやサクラの花の蜜を吸う。目の周囲の白い輪は、刺繍のような羽毛からなる。一見かわいいが、双眼鏡のぞくと、きつこ目をこける。

軒先の風景

写真・文 竹島 善一

芝倉に二軒の家屋があった。年間を通して常住するわけではなく、冬は町へ下りると聞いた。春、四月。池には融かす雪もなくなくなり、日除け、雨除けのシートの下に真新しいバイクが置かれている。ここで一人で住む人の生活が感じられる。軒下の薪は今しばらく必要だ。

（平成19年4月 柳津町芝倉）



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「ばち」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、只見町の「アケビツル籠」をプレゼントいたします。



●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房 宛

●応募締切：2016年3月24日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号92号で発表いたします。

◎90号「ゲンベエ」の答え：ワラで編んだ雪ぐつ

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



●保存食を作り、手近にあるものを利用する。道具を大切に使い感謝する。貴紙を拝見するとそれを思い出します。とてもありがたいです。(茨城県 I.Hさん)

●発行が90号とはすごいですね。歴史を感じます。私が手にするようになったのは63号からです。表紙の手仕事をする男性の写真に目が行きました。私の父は塩川町の農家の出ですが、何でもこなす父だったと思います。(東京都 M.Iさん)

●貴紙を読み、眺めているだけでこちらの心もほぐれていくような気がします。冬をたくましく耐え忍び、強く静かに春を待つ生活を待とうと思えました。これからも応援しています。(会津若松市 S.Yさん)

●奥会津という広い地域をフィールドにしながら、一つの集落の匂いを伝える面白い冊子ですね。人の歴史と現在を伝える「聞き書き百選」と「取材ノート」によるものでしょう。私の住む地域とはまるで違うのに、なぜか、ご近所の話の聞いたようなりアリティを感じました。(柏市 K.Yさん)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

特別列車が走ります!



❖風っこ只見線新緑号 5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

※会津若松駅～会津川口駅間(1日1往復)

❖SL只見線新緑号 5月28日(土)・29日(日)

※会津若松駅～会津川口駅間(1日1往復)

❖快速只見線山菜満喫号 6月18日(土)・19日(日)

※新潟駅～只見駅間(1日1往復)

JR只見線
春の特別列車
運行情報

奥会津イベント情報

4月～6月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
4月1日(金)	溪流釣り解禁	伊南地域 館岩地域	伊南川及び支流 南会津全域	南会津西武非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110 南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	檜枝岐川釣り解禁	檜枝岐村	檜枝岐川	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
4月9日(土)	千葉之家花駒座新春歌舞伎公演(檜枝岐歌舞伎公演)	檜枝岐村	東雲館	
4月10日(日)	福草草祭	南郷地域	中小屋地区	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
4月22日(金)～26日(火)	大林ふるさとの山「カタクリ・さくらまつり」 予定 ※雪解けの状況により開催日が変更になる場合あり	三島町	大林ふるさとの山(三島町西方)	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
4月23日(土)	ミニ尾瀬公園再オープン	檜枝岐村	ミニ尾瀬公園	ミニ尾瀬公園 ☎0241-75-2065
4月28日(木)	沼沢湖周辺施設オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
4月29日(金)	久保田三十三観音まつり	柳津町	久保田地区観音山	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
	良寛和尚供養祭		つきみが丘町民センター	
4月29日(金・祝)～5月8日(日)	からむし市	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ織姫交流館	からむし工芸博物館 ☎0241-58-1677
5月4日(水・祝)	博士山水芭蕉まつり	三島町	水芭蕉としらかばの杜	昭和村観光協会 ☎0241-57-3100
5月5日(木・祝)	鬼子母神例大祭	三島町	西隆寺	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
5月8日(日)	飯谷山 山開き	柳津町	飯谷山登山口	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
	要害山 山開き	只見町	只見駅前駐車場	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	長卸山 山開き	館岩地域	木賊温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月12日(木)	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	歌舞伎の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月14日(土)	前沢薬師堂まつり	館岩地域	前沢集落	前沢景観保存会 ☎0241-72-8977
5月15日(日)	博士山 山開き	柳津町	博士山麓登山口駐車場	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
5月21日(土)～6月4日(土)	第3回山人・春まつり	檜枝岐村	檜枝岐村内旅館・民宿・キャンプ場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月22日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯ノ花温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
5月28日(土)	尾白山 山開き	伊南地域	仲川原運動公園前受付(宮沢登山口)	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
5月下旬	尾瀬 山開き	檜枝岐村	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月下旬～6月末	高畑スキー場わらび園オープン	伊南地域	高畑スキー場	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：3月10日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☎webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。